Humanware By Systemware

2016年3月期
第2四半期決算説明会

2015年11月5日

日本システムウエア株式会社
代表取締役執行役員社長　多田 尚二

Humanware By Systemware

１．第2四半期決算について

NSW

連結業績概要(第2四半期累計)

（単位：百万円）

	2015/3 2Q累計 実績	期初計画	2016/3 2Q累計 実績	前年同期比（増減率）	計画比（増減率）
売上高	13,302	13,900	14,081	+5.9%	+1.3%
営業利益	691	730	700	+1.3%	△4.0%
同率	5.2%	5.3%	5.0%	△0.2p	△0.3p
経常利益	744	730	722	※1 △3.0%	△1.0%
同率	5.6%	5.3%	5.1%	△0.5p	△0.1p
四半期純利益	452	430	462	※2 +2.1%	+7.6%
同率	3.4%	3.1%	3.3%	△0.1p	+0.2p

- 売上高：プロダクトソリューション事業が牽引し、増収
- 利　益：ITソリューション事業における減益により、横ばい

※1　前年同期は営業外収益に保険返戻金（29百万円）を計上　　※2　税金等の影響による

セグメント別業績（第2四半期累計）

（単位：百万円）

		2015/3 2Q累計 実績	期初計画	2016/3 2Q累計 実績	前年同期比（増減率）	計画比（増減率）
ITソリューション	売上高	7,988	8,300	8,065	+1.0%	△2.8%
	営業利益	235	270	99	△57.6%	△63.0%
	同率	2.9%	3.3%	1.2%	△1.7p	△2.1p
プロダクトソリューション	売上高	5,314	5,600	6,016	+13.2%	+7.4%
	営業利益	456	460	600	+31.6%	+30.5%
	同率	8.6%	8.2%	10.0%	+1.4p	+1.8p

- 【 IT 】前期大型案件の反動や1Qの不採算案件の影響で減益
- 【プロダクト】組込み開発、デバイス開発とも伸長し、増収増益

ITソリューション事業 概況(１)

事業区分別売上高

（単位：百万円）

ITソリューション	2015/3期 2Q累計		2016/3期 2Q累計		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
ソリューション事業	4,377	54.8%	4,397	54.5%	+19	+0.5%
システム運用事業	1,240	15.5%	1,336	16.6%	+96	+7.8%
データセンター事業	1,351	16.9%	1,402	17.4%	+50	+3.7%
システム機器販売	1,008	12.7%	912	11.3%	△96	△9.6%
その他	10	0.1%	16	0.2%	+6	+65.8%
合　計	7,988	100.0%	8,065	100.0%	+76	+1.0%

- システム機器販売を除き、各事業区分ともに増加

ITソリューション事業 概況（２）

Humanware By Systemware

ソリューション事業・システム機器販売

- ●マイナンバーや制度改正対応を中心とした官公庁向けや、製造業向け、Web開発などが伸長
- ●流通業向けPKGベースソリューションや生損保業向け大型案件が一段落し、全体として横ばい
- ●不採算案件の影響やPKGベース案件の減少が響く

システム運用事業・データセンター事業

- ●データセンターのハウジング・ホスティング案件は横ばい
- ●金融業向けや、介護保険など官公庁向けの運用受託案件が拡大
- ●IoT、リモート運用監視などのサービス系事業も増加
- ●前期から引き続き、固定費等のコスト構造見直し、利益面も改善

プロダクトソリューション事業 概況(１)

Humanware By Systemware

事業区分別売上高

（単位：百万円）

プロダクトソリューション	2015/3期 2Q累計		2016/3期 2Q累計		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
組込みソフトウエア開発事業	3,450	64.9%	3,796	63.1%	+346	+10.0%
デバイス開発事業	1,769	33.3%	2,168	36.0%	+399	+22.6%
その他	95	1.8%	51	0.9%	△43	△45.6%
合　計	5,314	100.0%	6,016	100.0%	+702	+13.2%

- 両事業区分とも前期に引き続き増加

プロダクトソリューション事業 概況（２）

Humanware By Systemware

組込みソフトウエア開発事業

- ●通信インフラ分野は通信キャリアの設備投資が一巡し、横ばい
- ●オートモーティブ分野は国内外向け車載情報システム対応や、ADAS（先進運転支援システム）等の新規分野で伸長
- ●設備機器分野では、IoT、エネルギー管理ソリューション提供
- ●モバイル分野は受託案件が縮小も、通信キャリア向けやヘルスケア分野、モバイルO2OでITソリューションとの連携も

デバイス開発事業

- ●設計技術強化とPJ体制増強による主要顧客の維持・拡大
- ●画像処理、高速インタフェースなど得意分野における案件拡大
- ●LSIフルカスタム再生産サービス「LiteASIC」も着実な成果

経営・財務指標の推移

Humanware By Systemware

	2015年3月期 第2四半期末	2015年3月期 期末	2016年3月期 第2四半期末
流動比率	218.8%	232.5%	280.1%
固定比率	70.3%	66.5%	64.1%
有利子負債依存率	3.6%	0.0%	0.0%
デット・エクイティ比率	0.06倍	0.00倍	0.00倍
自己資本比率	65.1%	65.7%	69.5%
一株当たり当期純利益	30.38円	68.25円	31.03円
一株当たり配当金	7.50円	7.50円	15.00円 ※

※普通配当（7.5円）＋記念配当（7.5円）

➢ 財務健全性と株主資本効率、株主還元の最適化へ

Humanware By Systemware

2. 通期業績見通しについて

現状認識

Humanware By Systemware

（事業環境）

- 中国経済の減速が懸念されるなど先行きに不透明感
- 企業収益や雇用環境の改善等により緩やかな回復基調で推移

（業界動向）

- マイナンバーや金融系大型特需による人手不足が顕著に
- 様々な業界と連携した新サービス立ち上げの動きが本格化

事業構造の変革と新たな価値創造を継続

連結業績予想（通期）

Humanware By Systemware

（単位：百万円）

	2015/3期 実績	2016/3期 予想	前期比		2Q累計 実績
			増減額	増減率	
売上高	28,163	29,000	+836	+3.0%	14,081
営業利益	1,766	1,800	+33	+1.9%	700
同率	6.3%	6.2%	△0.1p		5.0%
経常利益	1,866	1,800	△66	△3.6%	722
同率	6.6%	6.2%	△0.4p		5.1%
当期純利益	1,016	1,000	△16	△1.7%	462
同率	3.6%	3.4%	△0.2p		3.3%

- 当初計画を維持
- ITソリューション事業の収益力強化が喫緊の課題

セグメント別業績予想(通期)

Humanware By Systemware

(単位:百万円)

		2015/3期 実績	2016/3期 予想	前期比		2Q累計 実績
				増減額	増減率	
ITソリューション	売上高	16,952	17,500	+547	+3.2%	8,065
	営業利益	699	800	+100	+14.3%	99
	同率	4.1%	4.6%	+0.5p		1.2%
プロダクトソリューション	売上高	11,211	11,500	+288	+2.6%	6,016
	営業利益	1,067	1,000	△67	△6.3%	600
	同率	9.5%	8.7%	△0.8p		10.0%

ITソリューション事業 今期重点施策

Humanware By Systemware

IoT/M2M、クラウド基盤サービス事業の推進と収益化

パッケージベースSI事業の拡大（拡販施策の展開）

金融保険業、流通業、製造業向けソリューションの強化・拡充

運用・DC事業の収益改善と、高付加価値サービスの拡充

ITソリューション事業 トピックス

■ 物流業向け

入出庫在庫管理システム「ORBIS」シリーズの拡充

✓ 5/28「文書保管」Ver.6リリース

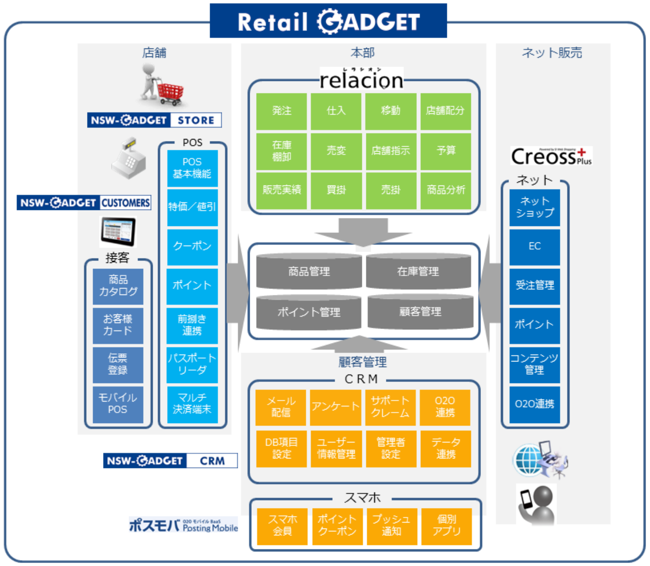
✓ 8/26「冷蔵倉庫」新規リリース

営業倉庫業向け	トランクルーム業向け	冷蔵・冷凍倉庫業向け
ORBIS-Ⅵ倉庫管理	ORBIS-Ⅵ文書保管	ORBIS-Ⅵ冷蔵倉庫

■ 小売業（専門店・専門量販店）向け

CRM、オムニチャネル機能強化

✓ 10/26 IT統合ソリューション「Retail GADGET」リリース



■ IoTサービス

✓ 11/4 「Toami」とシームレス連携
ビッグデータ分析サービス「Toami Analytics」の提供開始

プロダクトソリューション事業　今期重点施策

Humanware By Systemware

既存顧客の維持・拡大（オートモーティブ、通信、半導体）

成長分野への注力（社会インフラ、産業機器、ヘルスケア）

サービス事業展開、プロダクト・ライセンス販売の拡大

IoT/M2M、O2O対応に向けたセンシング技術等の強化

プロダクトソリューション事業 トピックス

Humanware By Systemware

■ エネルギー管理ソリューション「ENESMA」

✓ 5/11、商用ビル・店舗向け「ENESMA BEMS Suite」提供開始
電力消費予測、見える化、遠隔制御で施設環境を最適制御

■ マルチセンサビーコン「N」を開発

✓ 温・湿度、UV、照度など複数の環境情報を取得、
ペアリング（相互認証）しないBLE通信で発信

■ 業務支援ナビを開発

✓ 物流・配送業向け車両運行管理
「GUIDE LINER」販売開始（7月）
市販タブレットで導入コスト抑制

Humanware By Systemware

3. 注力分野(IoT)の現状

NSW

当社のIoTビジネス

Humanware By Systemware

アプリケーション
- SaaS提供
  - ・気象監視
  - ・庫内管理など
- 個別提供アプリ
- アライアンスアプリ
- EMS
  - ENESMA（エネスマ）
- 車両管理
  - GUIDE LINER（ガイドライナー）

IoTプラットフォーム
IoT Cloud Platform Toami Powered By ThingWorx

- リアルタイム処理基盤
- 大量データ蓄積基盤
- 分析・解析基盤
- 課金管理などのビジネス基盤

ネットワークインフラ
- 国内ネットワーク
- グローバルネットワーク

通信キャリア様とのアライアンスで対応

デバイス
- センシング技術
- 域内通信技術
- エンベデッド コア技術

デバイスメーカー様とのアライアンス、当社組込み技術で対応

ワンストップでサポート

アライアンスパートナー拡がる

ほか多数

2015年4月22日

ぷらっとホームの『OpenBlocks IoT BX1』、NSWのIoTプラットフォームに対応

手のひらサイズの小型機器でスマートなシステム環境構築を実現

2015年7月8日

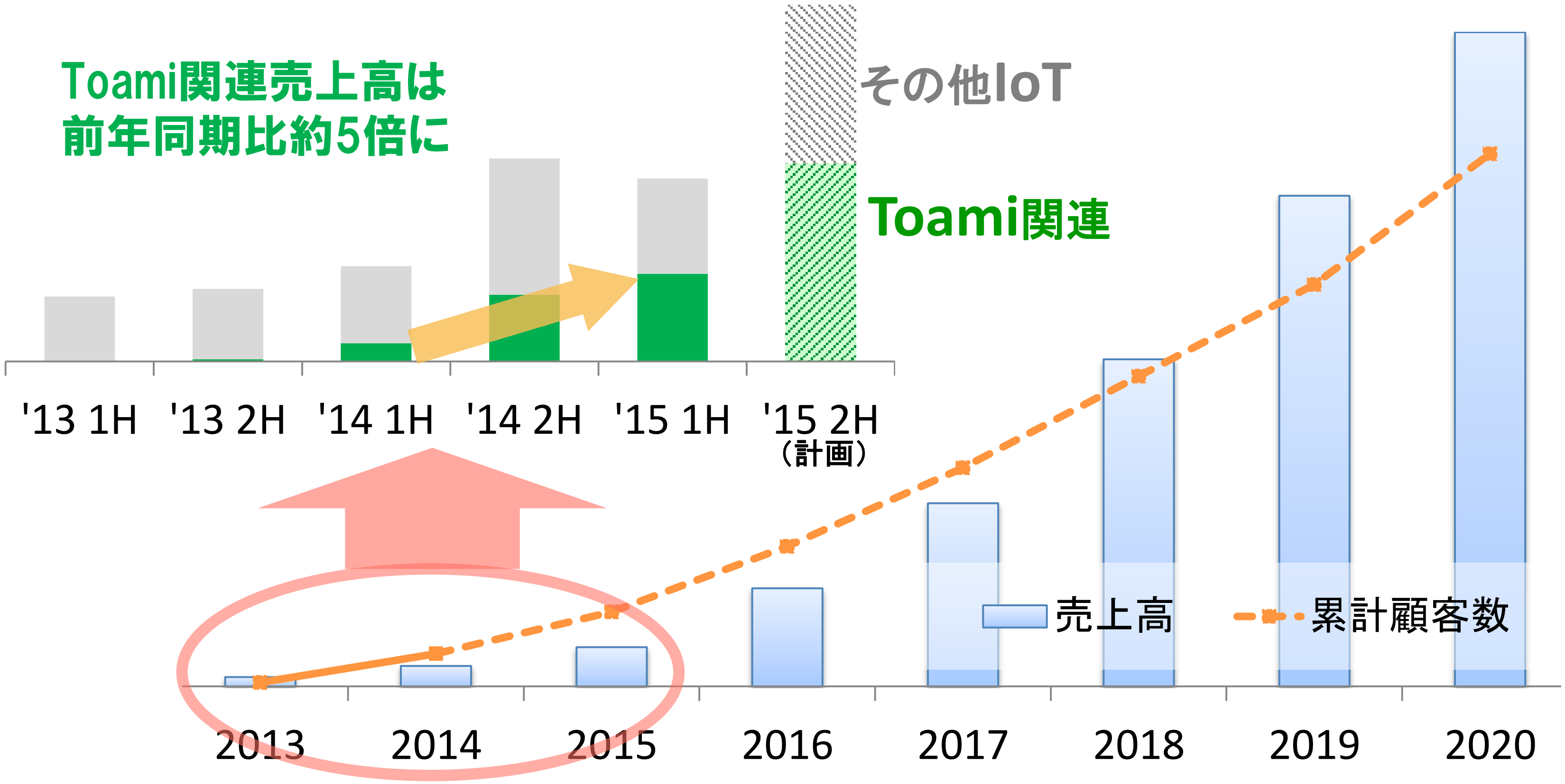
GEエナジー・ジャパン様とNTTドコモ様が業務提携に向けた覚書を締結

GEの産業用機器向けワイヤレスルーター「MDS-Orbitプラットフォーム」で取得したデータを、ドコモの通信モジュールを介して、NSWの「Toami」上で提供するアプリケーションと連携・・・

2015年9月30日

NSW、IoTサービス事業者向けマネタイズ支援を開始

「Toami」とオラクル課金管理サービスを連携し、マネタイズ機能を提供

足元の実績と、中長期目標

（2015年度上半期）
- ✓ 多数のパートナーシップ展開
- ✓ 実証実験、検証フェーズから本番展開案件が増加
- ✓ キッティング、GW導入など付随サービス開始